

令和5年度 豊丘小学校グランドデザイン

児童の願い

- ・全校が仲のよい学校
- ・楽しく学べる学校
- ・安心・安全な学校
- ・けじめのある学校

学校教育目標

心豊かで 考え深く たくましく

児童会スローガン

一人ひとりを大切に、笑顔あふれる豊丘小

※○番号は裏面の8項目に対応

須坂市教育大綱基本方針

- ・多様性を認め合い誰もが活躍できるまち
- ・子どもの個性と力がのびのび育つまち
- ・一人ひとりが学び、高め合うまち

重点目標

つながろう (徳)

向き合おう (知)

高めよう (体)

めざす 姿と具 体的な 取り組 み	知識・技能	自他のよさがわかる <ul style="list-style-type: none"> ・1日のふり返りでよさを共有 ・C4thよいところカードの活用 ・キャリアパスポートの活用 ・子どもを否定しない 	自分で考える <ul style="list-style-type: none"> ・興味関心を喚起する教材提示 ・既習の活用・見通しが持てる工夫 ①③CBTを活用した縦割りドリル ③学期1回の単元内自由進度学習 	自分の生活を見直す <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習週間週 (各学期1回) ・スマホ安全教室、食育、歯の健康教室、交通安全教室、薬物乱用防止教室等、外部講師の活用
	思考・判断・表現力	気持ちを伝える <ul style="list-style-type: none"> ・安心できる学級づくり (一人ひとりを大切にする教師の姿勢) ・道徳、エンカウンターの活用 ・よさの伝え合い、認め合い 	自分の考えを伝える <ul style="list-style-type: none"> ・考えを共有する場の設定 ・伝えたくなる共通課題の設定 ④生活、総合での協働的な学び ・子どもの考えを引き出す手立て 	⑦相談できる <ul style="list-style-type: none"> ⑦毎月心のチェックカードカード ⑦毎月の相談週間 ⑦スクールカウンセラーの活用 ・相談時間の設定 (日課に位置づけ)
	学びに向かう力	関わりを広げる <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人との継続した交流 (生活科・総合的な学習、クラブで地域、保育園、仁礼小と) ⑥連学年学習や縦割り班活動 ⑤⑥3~6年の縦割りで地域を学ぶの総合的な学習 	自分から学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・自主学習 (カード) ・ICTを活用した自由進度学習 ・学習のふり返りを必ず書く ②主体的に学ぶ家庭学習全校カリキュラム化 (学級格差を作らない) ・読書チャレンジ 	目標に向かって続ける <ul style="list-style-type: none"> ・頑張りカード (自主勉強・マラソン) の継続 ・月1回MIMの実施 (1.2年) (LD傾向児への早期対応) ・振り返りの時間の設定 (課題やめあての明確化)

絶対的自己肯定感の育成

〈全校研究テーマ〉 多様性を認め合い主体的に学ぶ子どもの育成

- ・教育課程研究協議会 (体育) 5.6年
- ・全学年単元内自由進度学習 3.4年授業公開
- ・園小連携でつくる生活科・MIMの研究推進 1.2年 (生活科公開)

子どもを見る視点

- ・ありのままを認める
- ・子どもを受け入れる
- ・子どもを信頼する
- ・子どもを大切にする
- ・自分の価値を自覚させる

①園小連携で取り組む自己肯定感の育成 (非認知能力の育成)

- ・園小の職員交流・児童交流の日常化
- ・園小職員合同研修で考えるスタートカリキュラム・アプローチカリキュラム
- ・園小で関わる体験活動 (体験→経験→学び)

地域・保護者との連携

- ②東3校小中連携 (多様性・主体性) に向けた自由進度学習の研究推進
- ⑧地域とともに作る150周年記念事業 (豊丘小CS=実行委員会)
- ・家庭学習週間 (家庭と連携)
- ・地域指導者によるクラブ活動

開かれた学校づくり

- ・学級通信、学校便りとHPによる情報発信
- ・連学年教科と連学年担任制の導入
- ・SCの訪問相談・相談窓口・相談日の明示
- ⑧地域とともに作る生活科・総合的な学習
- ⑧学校評価の公開と学校評価を生かした学校運営 (豊丘小CSとの協議)

安心・安全を守る

- ・安全点検日 (施設設備、防犯ブザー点検)
- ・毎日の健康観察 (FoomとC4th)
- ・子ども安心の家との連携
- ・集団登下校日の設定
- ・不審者対応訓練、引き渡し訓練
- ・交通安全教室、街頭指導

検証方法と評価の観点

・学校評価により、児童の「学校に来るのが楽しい」を90%以上にする。

- ・上記9項目の児童・職員評価での肯定的評価80%以上
- ・図書館の活用 (低学年1人80冊以上 高学年60冊以上) 9割以上